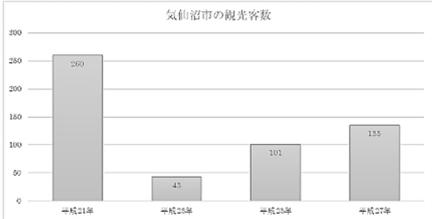


○指導計画作成の工夫

★新しい単元であるため、教材開発は今後も必要である。授業では、「Google earth」の活用や、市のHPなどの活用が考えられる。また、気仙沼市で作成しているPR動画などがあるので、活用をしたい。

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項, 内容, 活動
特色ある地いきと人々のくらし	7時間	1	<p>● 気仙沼市は太平洋に面した市であり、豊かな自然があることを理解する。</p> <p>① 気仙沼の写真や地図を見て気付いたことを書き、話し合う。20分</p> <p>○ 気仙沼市の位置を調べる。 ⇒「仙台市の北にあるね。太平洋に面した海沿いにあるね。」 ※地図帳や「わたしたちの宮城県」P10の地図を使用する。 ※既習事項を生かして、気仙沼市の位置を「宮城県の北に位置している」ことや「太平洋に面している」と表せることを押さえる。</p> <p>○ 気仙沼市の写真から、気付いたことを話し合う。 ⇒「海が青くてきれいだね。気仙沼の海に行ったことがある。」 「海岸の形がおもしろいね。ギザギザしている。」 「港があって、魚がとれるんだね。」 「大島大橋に行ったことがあるよ。」 ※写真は「わたしたちの宮城県」の写真など気仙沼の景観が分かるものを選んで提示する。</p> <p>② 気仙沼市について調べる。15分 ⇒「気仙沼市の海岸沿いは三陸復興国立公園というそうだ。」 「海には、海水浴や潮干狩りに人が来るそうだ。」 「気仙沼の港は、全国でも有名です。さんまやかつおなどが水揚げされている。」 「東日本大震災では、津波で大きな被害を受けた。少しずつ復興してきた。」 ※リアス海岸という言葉を押さえる。 ※前時までの他の市町村の学習を生かし、「まちづくり」とこの自然が関係しているのではないかをいうことに気付かせたい。</p> <p>③ 本時のまとめ、感想をノートに書く。10分 ・調べたいことやその理由など、書く観点を明確にするとよい。 ㊦ 「気仙沼市のことはこれまで知らなかったのですが、どうしてこんなに自然がきれいなのかを調べたいです。」 「まちづくりに海などの自然を生かしているんじゃないかと思います。」</p>

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項, 内容, 活動
特色ある地いきと人々の暮らし	7時間		<p>● 小単元の学習問題を作り、学習計画を立てる。</p> <p>1 気仙沼市の観光客数のグラフから変化を読み取る。10分 「平成 23 年に大きく減っているね。」 「また、増えてきている。」 「増えてきているのはなぜだろう。」 「観光の人たちは海に来ているんじゃないかな。」</p>  <p>2 調べてみたいことについて話し合い、学習問題をつくる。20分 ・気仙沼市について疑問に思ったことを個人で書いた後、全体で話し合う。 ※グループごとに話し合いを行ってもよい。 「気仙沼の海はどうしてこんなにきれいなんだろう。町の人が何かくふうをしているんじゃないかな。」 「東日本大震災では大変ではなかったのかな。えいきょうはなかったのだろうか。」 「気仙沼市の人たちは海をどう思っているんだろう。きれいな海を守るためにどんなことをしているのだろうか。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>気仙沼市では、きれいな自然をどのようにまちづくりにいかしているのだろうか。</p> </div> <p>3 学習計画を立てる。10分 気仙沼市のまちづくりの特色を知るために、どのようなことを調べればよいか考えさせる。 ・予想をたて、調べたいことを整理する。 「気仙沼市の人たちの思いや願いを知りたい。」 「どうやってきれいな海を守っているのだろうか。」 「海の他にも気仙沼市には、どんなものがあるのかな。」</p> <p>※調べる視点をいくつかの観点に整理する。 例「気仙沼市の人々の海を守るためのくふうや努力」 「海のまちづくりへの生かし方」</p> <p>・調べ方やまとめ方を確認する。 ※「わたしたちの宮城県」「インターネット」で調べる。 ※ 調べたことはノートにまとめる。 ※ 学習の最後に、気仙沼市と仙台市を比較したり、気仙沼市のキャッチコピーを考えたりする活動をすることを伝える。</p> <p>4 本時のまとめ・感想をノートに書く。5分 「次の授業では、気仙沼市の自然をまちづくりでどう生かしているかを調べたいです。」 「資料を使って、気仙沼市の人々の様子を調べたいと思います。」</p>
		2	

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項, 内容, 活動
特色ある地いきと人々のくらし	7時間	3	<p>● 気仙沼市の自然の様子と人々の取組を具体的に調べる。</p> <p>① 気仙沼市には、どんな自然があるのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場がある。そこでは、潮干狩りや海水浴ができる。 ・港があり、新鮮な魚が食べられる。海岸は三陸復興国立公園になっている。リアス海岸を見に人が来る。大島からは、美しい海が見渡せる。 ・震災で一本だけ残った「竜の松」を見に来る人がいる。 <p>※「わたしたちの宮城県」P10・11 参照</p> <p>※ 大島からの眺めは、「Google earth」のストリートビューでも見ることができる。</p> <p>※ 気仙沼市のHPを使って、自分で調べさせることもできる。</p> <p>調べる際に活用できるHP</p> <p>※ 豊かな海を生かして、おいしい海の幸を食べられる場所がある。</p> <p>https://kesenuma-kanko.jp/osakana-ichiba/</p> <p>※ 龍の松</p> <p>https://kesenuma-kanko.jp/%e9%be%8d%e3%81%ae%e6%9d%be/ 「気仙沼じるし」</p> <p>https://www.kesenuma.miyagi.jp/jirushi/index.html 気仙沼フォトギャラリー</p> <p>https://www.kesenuma.miyagi.jp/li/photo/index.html</p> <p>② 気仙沼市の人々は、美しい海などを守るためにしている取り組みを調べる。</p> <p>※「NPO 法人 森は海の恋人運動」 http://www.mori-umi.org/</p> <p>※「はまわらす ビーチクリーン」</p> <p>https://blueshipjapan.com/event/5220 「海をきれいに」</p> <p>https://miyagi.uminohi.jp/report/%E6%B5%B7%E3%82%92%E3%81%8D%E3%82%8C%E3%81%84%E3%81%AB%EF%BC%81%E5%85%A8%E5%9B%BD%E4%B8%80%E6%96%89%E3%82%B4%E3%83%9F%E6%8B%BE%E3%81%84/</p> <p>→映像は https://www.youtube.com/watch?v=R1NtlV2LedQ</p> <p>「クリーンオルレ」</p> <p>https://kesenuma-kanko.jp/%E3%81%BF%E3%82%93%E3%81%AA%E3%81%A7%E3%81%8A%E6%8E%83%E9%99%A4%EF%BC%81%E5%94%90%E6%A1%91%E3%83%BB%E3%82%AF%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%83%B3%E3%82%AA%E3%83%AB%E3%83%AC/</p> <p>③ 本時の感想をノートに書く。 5分</p>

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項, 内容, 活動
特色ある地いきと人々のくらし	7時間	4	<p>● 気仙沼市の美しい自然を守るための人々の取組について理解する。</p> <p>1 本時の課題をつかむ。5分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>気仙沼市の人々は、どのようにしてきれいな自然を守っているのだろう。</p> </div> <p>2 前時までに調べたことを発表する。15分</p> <p><自然></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場がある。そこでは、潮干狩りや海水浴ができる。 ・港があり、新鮮な魚が食べられる。 ・海岸は三陸復興国立公園になっている。リアス海岸を見に人が来る。 ・大島からは、美しい海が見渡せる。 ・震災で一本だけ残った「竜の松」を見に来る人がいる。 <p><人々の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな海 <ul style="list-style-type: none"> →ボランティアによる清掃活動 →木を植える活動 ・震災後の景観 <ul style="list-style-type: none"> →保存 →語り部の活動 <p>3 気仙沼市の人々の思いについて話し合う。15分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動をしている人たちは、きれいな気仙沼市を守りたいのだと思う。 ・きれいな海を見に来てほしいから活動をしていると思う。 ・木を植える活動によって、魚がいっぱいの海が守られると思う。 <p>※「わたしたちの宮城県」P11に植樹の様子が載っている。</p> <p>※「NPO 法人 森は海の恋人運動」http://www.mori-umi.org/</p> <p>※「森は海の恋人運動 30周年」の動画では、畠山さんやそれに関わる人々のインタビューが見られる。https://www.youtube.com/watch?v=4GIpwkJxIRk&t=191s</p> <p>※ 畠山さんの言葉はわたしたちの宮城県P 76に掲載している。</p> <p>4 本時のまとめを行い、感想をノートに書く。10分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>気仙沼市では、豊かな自然があり、人々は協力してそれを守っている。</p> </div> <p>「気仙沼の人たちが、きれいな海にするために様々な活動をしていることが分かりました。」</p> <p>「他にもどんなことをしているのか知りたいです。」</p> <p>次時は、景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのかを調べることを伝える。</p>

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項, 内容, 活動
特色ある地いきと人々の暮らし	7時間	5	<p>● 気仙沼市の景観を生かしたまちづくりの取組を調べる。</p> <p>1 本時の課題をつかみ、予想を立てる。5分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>気仙沼市では、きれいな自然をどのようにまちづくりに生かしているのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を見にたくさんの方がくるんじゃないかな。 ・海を生かしているんじゃないかな。 ・気仙沼でしかできないことがあるんじゃないかな。 <p>※第2時で掲示した年間の観光客数を提示する。</p> <p>2 気仙沼市では、景観を生かしてどのようなまちづくりが行われているか調べる。35分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港の見学や体験など、海の近くでしかできないことが体験できるプログラムがある。 <p>→ (参照) ちょいのぞき https://kesenuma-kanko.jp/cyoinozoki/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災で被災した地域だからこそ分かる体験を、来た人に語り継いでいる。 <p>→ (参照) 震災語り部</p> <p>https://kesenuma-kanko.jp/%e6%b0%97%e4%bb%99%e6%b2%bc%e9%9c%87%e7%81%bd%e5%be%a9%e8%88%88%e8%aa%9e%e3%82%8a%e9%83%a8%e3%82%ac%e3%82%a4%e3%83%89/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興国立公園にリアス海岸を見に来る人や大島の景色を見に来る人もいる。 ・気仙沼みなと祭りというお祭りがある。 ・おいしい魚を食べることができる。港がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語で書いたパンフレットを作っているから、外国の人も来るんじゃないかな。 <p>→ (参照)</p> <p>https://www.kesenuma.miyagi.jp/sec/s084/020/020/010/020/20170313113026.html</p> <p>※ パンフレットを印刷し、配付して調べさせることもできる。</p> <p>3 本時の感想をノートに書く。5分</p> <p>「たくさんの方が気仙沼市に来てくれるように、色々なことをしているのが分かった。」</p> <p>次時は、調べたことを共有し、話し合うことを伝える。</p>

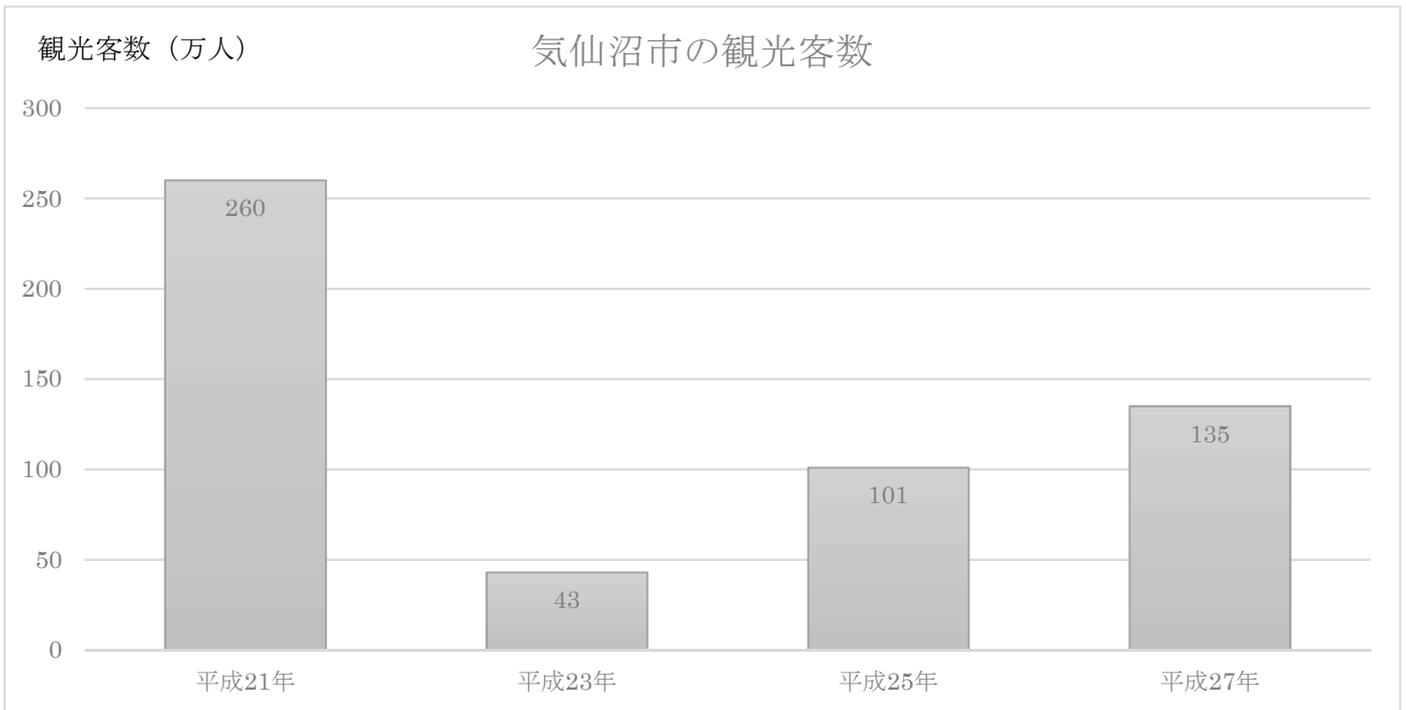
単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項, 内容, 活動
特色ある地いきと人々の暮らし	7時間	6	<p>● 気仙沼市では、景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのか理解する。</p> <p>1 本時の課題をつかむ。5分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>気仙沼市では、自然をどのようにまちづくりに生かしているのだろう。</p> </div> <p>2 気仙沼市では、景観を生かしてどのようなまちづくりが行われているかまとめる。10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の近くでしかできないことが体験できるプログラムがある。 ・東日本大震災で被災した地域だからこそ分かる体験を、来た人に語り継いでいる。 ・三陸復興国立公園にリアス海岸を見に来る人や大島の景色を見に来る人もいる。 ・気仙沼みなと祭りというお祭りがある。 ・おいしい魚を食べることができる。港がある。 ・外国語で書いたパンフレットを作っている。 <p>→気仙沼市では、海でしかできないことや見られないものを生かしている。そして、たくさんの方がそれを見に気仙沼を訪れる。</p> <p>2 小単元の学習問題に対する自分の考えを書き、話し合う。10分</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>気仙沼市では、自然をどのようにまちづくりにいかしているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市では、海を生かして、たくさんの方が来るような取組をしている。例えば、海でしかできない体験や景色を見にたくさんの方がくる。 ・気仙沼市では、たくさんの方に海やまちの良さが伝わるように、パンフレットや動画で情報を発信して、まちを盛り上げている。 <p>3 気仙沼市の復興スローガン「海と生きる」を提示し、どんな意味か、人々の思いについて話し合う。10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海を大切にしていこうという気持ちなんじゃないかな。 ・気仙沼市の人たちは、海の側だからできることをしているね。 ・震災があっても、海を大切にしていこうという気持ちが伝わるね。 <p>4 単元の学習の感想をノートに書く。5分</p> <p>「気仙沼市の人たちが、豊かな海を生かしてまちづくりをしていることが分かった。海の側でしかできないことを生かしていることが分かった。」</p> <p>「気仙沼市の人たちが、海を大切にしている姿が心に残った。」</p> <p>「たくさんの方が気仙沼市に行く理由が分かった。自分のいつかは行ってみたい。」</p> <p>※次時は、キャッチコピーを考えることを伝える。</p>

単元名	総時数	時	●⇒学習すべき事項, 内容, 活動
特色ある地いきと人々のくらし	7時間	7	<p>● これまで調べてきたことを生かして、気仙沼市のキャッチコピーを考える。</p> <p>1 本時の課題をつかむ。5分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 気仙沼市について調べたことをもとに、キャッチコピーをつくろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて分かったことを整理する。 気仙沼市には豊かな自然がある。 海は、リアス海岸という特徴のある形をしている。 海岸沿いは、三陸復興国立公園になっている。 海には、海水浴や潮干狩りに人々が訪れる。 <p>2 本時までの学習を想起させる。10分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 気仙沼市の海について </div> <ul style="list-style-type: none"> ・リアス海岸やきれいな海があり、気仙沼市の人々はそれを大切にしている。 ・気仙沼市の人々は、きれいにする活動をしている。 ・気仙沼市の自然を見にたくさんの方が訪れる。 ・海を生かした体験プログラムがある。 ⇒海にたくさんの観光客が訪れている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 気仙沼市の人々について </div> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市には海に感謝をする「みなとまつり」がある。 ・海の環境を守るための植樹の活動をしている人々がいる。 ・ボランティアの人々による清掃活動をしている。 ⇒気仙沼市の人々は、海を大切にしている。 <p>3 気仙沼市のキャッチコピーを考える。20分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字数の制約を設けず、自由に考えさせるが、理由を明記させるようにする。 <p>「きれいな海にたくさんの方が来る町」</p> <p>→きれいな海があり、そこに海水浴や潮干狩りに人が来るから。</p> <p>「海とともに生きる 気仙沼市」</p> <p>→復興のテーマでもあるし、気仙沼市の人々が海を大事にしているから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたキャッチコピーを全体で共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 短冊やホワイトボードなどを活用する。 ※ グループ活動にしてもよい。 ※ キャッチコピー作りにはこれまで、他の特色ある市町村のまちづくりの様子についてまとめた経験を想起させ、生かさせる。 ※ 他の市町村との違いについても意識させ、気仙沼市ならではの内容になるよう助言をする。 <p>3 単元の学習を振り返り、学習感想を書く。10分</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・計画を振り返りながら、今回の学び方を確認する。 ・単元を通して、気付いたことや考えたことを書かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>宮城県気仙沼市では、豊かな海を生かしたまちづくりをしていて、そこにたくさん観光客が来ることが分かった。気仙沼の人たちは、きれいな海を守るため活動をしていることも分かった。ぜひ、気仙沼市の海を私も見に行きたい。</p> </div> <p>※単元の「いかす」は、3つの地域を勉強した後に設定する。</p> <p>4 完成した作品を発表し合う。10分</p>
--	--	---

参考サイト

「気仙沼観光情報サイト」 <https://kesenuma-kanko.jp/>
「気仙沼市観光パンフレット」 PDF ファイル
<https://www.kesenuma.miyagi.jp/sec/s084/020/020/010/020/20170313113026.html>
「気仙沼 PR 動画」
<https://kesenuma-kanko.jp/%E6%9D%A5%E3%81%A6%E3%83%BB%E8%A6%B3%E3%81%A6%E3%83%BB%E6%84%9F%E3%81%98%E3%81%A6%E6%B0%97%E4%BB%99%E6%B2%BC/>
「復興語り部・観光ボランティアガイド」について
<https://www.miyagi-kankou.or.jp/theme/detail.php?id=12989>



観光客数については以下のグラフを参考にした。

(4) 市内を訪れる観光客の状況

気仙沼市内を訪れる観光客数は、震災前の平成22年までは概ね250万人で推移していたが、震災発生年は43万人（震災前の6分の1）と大きく減少した。しかし、震災後の平成24年以降は、震災復興支援の機運も高まり観光客数が年々増加しており、平成27年では135万人まで回復している。

地区別に見ると、震災前までは気仙沼地区と本吉地域の観光客数が多かったが、震災後は気仙沼地区への来訪者のみが平成27年以降、震災前の水準を超えている。



「気仙沼市総合交通計画」より

○気仙沼市震災復興計画表紙

気仙沼市震災復興計画

海と
生きる

平成23年10月
気仙沼市